

PROFILE

1953年熊本県生まれ。熊本フットケアアカデミー認定講師。



一人では「小さな一歩」も
みんなが集まれば
大きな力になる

小さな一歩の会

URL : <http://www.chi-sanaippo.com>
E-mail : ippo.mori@nifty.com

—「小さな一歩の会」とは？

森 押し花しおりの販売や使用済み切手・インクカートリッジの回収、使っていない日用品をフリーマーケットに出しています。1回参加して終わり、ではなく、みんなが楽しく参加でき、かつ継続できるボランティア活動をしたいと思って取り組んでいます。その中で得た収益は、国際人権ネットワークを介して、地

雷被害者が集められたカンボジアのモンドルバイ村や、自然災害被害者へ寄付しています。寄付の中には子どもたちがおこづかいの中から出してくれたお金もありますし、皆さんの協力を無駄にしないためにも、送り先と目的がはっきり分かるところに寄付しています。押し花しおりは月に1回第2土曜日にみんなで集まって作っており、イベントや学校に出

かけてワークショップも開いています。小さい子からお年寄りまで、夢中になって作ってくれます。「小さな一歩」も継続することで、「大きな力」になっていきます。

—設立のきっかけは何ですか。

森 世界には今でも地雷の被害で苦しんでいる人が多いことを、テレビで知ったことがきっかけです。私に何かできることはないかといういろいろ調べ、熊本にあるボランティア団体に入って活動しました。活動を続ける中で、自分のペースで継続したいと思い、同会を立ち上げました。

—学生時代からボランティアに関心があったのですか。

森 私自自身が視覚に問題を持っていることもあり、子どものころから視覚弱者の方に関心がありました。点字を勉強するなど誰かの役に立ちたい思いは持っていました。結婚後、仕事と育児に追われる中でも、「何かしたい」という思いは持ち続けていました。

—これから社会に出る女子学生にアドバイスをお願いします。

森 今は女性が自立しているいろんな場面で活躍できると思います。その時に、自分のやっていくことに責任を持つてほしいですね。

輝きの軌跡

森理恵子さんの
キャリアストーリー

- 1975年 熊本中央病院で臨床検査技師として勤務
- 1977年 結婚後、東京へ。国立がんセンターに勤務
- 1978年 熊本に帰り、第1子出産
- 1979年 小売店を営む
- 1980年 第2子出産
- 1983年 第3子出産
- 1984年 オリジナル印鑑を製造し、全国へ販売
- 2003年 小さな一歩の会設立
- 2005年 フットケア講師となる

自分がやっていこうと思うことなら、周りから何を言われても負けずに、全て自分の栄養にしてください。

